

脳神経外科に『神の手』はあるか？

最近 テレビなどのマスコミが 高名な脳外科医を取り上げ、『神の手』と賞賛しているのをご覧になった方も多いかと思われます。

経験の多い、また学術的に優れた医師も多く、紹介すること自体は間違いではないと思われますが、脳外科・専門医から見るとあまりに過剰な宣伝にも思われるのが正直な感想です。

脳神経外科手術は確かに、ときに非常に困難で誰が手術しても完全な治療ができない患者さんもおられますが、多くの手術はこれまでの半世紀の間にほとんどの脳外科専門医が可能な手術手技に確立されたものになっています。それはこれまでの数多くの先駆者である脳外科医が我々に残してくれた技術であり、『神の手』が突然生み出したものでは決してありません。

そして外科一般に言えることですが、どの外科医が行っても一定の確率で合併症は発生しうるのは当然のことと、それをゼロというのは嘘、誇張というべきです。現実にこの地区でも『神の手』が手術をしたあと普通は起こらない合併症が出て当院に相談に来られた方も見えました。

そうなっても、あとのケアはしてくれないようです。

一方では、医療事故、救急拒否など医療への不信も高まっている時代であり、病気になられた患者さんにとっては何を、誰を信じて良いのか 困惑してしまう状況であるのだと思います。

最近ではセカンドオピニオンという体制も普及してきましたので、色々な脳神経外科医に相談されることも可能です。医学的な知識に乏しい患者さんにとってはとても不安が強いかと思われますが、それぞれの脳神経外科医から親身で誇張のない意見をお聞きになってください。

テレビに出てくる『神の手』はあまりに自分だけが良くて、謙虚さに欠けているように見えますが、いかがでしょうか？

豊田厚生病院 脳神経外科